

		I期(4月～5月)	II期(6月～8月)	III期(9月～10月)	IV期(11月～12月)	V期(1月～3月)
子どもの姿と育てたい側面		○新しい生活に緊張や不安を抱き、泣いたり、保護者と離れにくいなど不安な表情が見られる。温かく受け入れ保育者と信頼関係を築く中で、安心して登園できるようにしていきたい。 ○園生活の流れが分かり、園生活のリズムに次第に慣れ、自発的に遊び、身の回りのことが少しずつできるようにしていきたい。 ○初めは一人で遊ぶことが多いが、次第に側にいる友だちと同じ動きをしたり、友だちの遊びにも関心を持ったりする。 友だちと遊ぶ楽しさを保育者が仲立ちとなって知らせていきたい。	○保育者に親しみ、気持ちが安定するにつれて、新しい活動にも自発的に取り組み、遊びの場を広げていく。 ○園の玩具や玩具に興味を示し、友だちと触れ合いながら、自分の好きな遊びに意欲的に取り組めるようになっていく。 ○園生活の流れが分かり、身の回りのことを自分でしようとする。 ○友だちと同じ場で遊ぶことでかかわりが増え、友だち同士ぶつかりも多くなっていく。そうした機会を通して友だちとのかかわり方を知り、一緒に遊ぶ楽しさに気付かせたい。	○園生活のリズムを取り戻し、経験したことやできたことを保育者に伝えようとする。 ○好きな遊びを通して、友だちと一緒に過ごすことを楽しめるようになる。 ○身の回りの始末などの基本的な生活習慣を自分でしようとするが、まだ個人差が大きい。自発的に取り組み、自分でできる喜びを味わえるようにしたい。 ○他学年の運動会の取り組みを見て、かけっこやおゆうぎに興味を持ち、やってみようとする意欲を育てたい。	○友だちと一緒に同じ遊びをする楽しさがわかり始め、自分の思いや考えを通そうとして、友だちとぶつかることが出てくる。 その中で相手の気持ちにも徐々に気付くようになっていく。 ○保育者の言葉により指示を聞いて行動したり、友だちと一緒に動いたりする楽しさを味わえるようにしていきたい。 ○自分のイメージを言葉や動きなどで自由に表現することを楽しむようになるため、伸び伸びと表現する喜びを感じられるようにしていく。 ○個人差を認めながら、少しずつ基本的な生活習慣が身に付くようにしたい。	○身の回りのことや生活に必要なことなどを自発的に行おうとする気持ちを大切に、達成感を味わえるようにしたい。 ○保育者や友だちと心を通わせる中で体験したことや想像したことを自分なりに話し、言葉での表現が豊かになっていく。言葉による伝え合いを楽しめるようにしたい。 ○安定した気持ちで園生活を送るようになり、仲のよい友だちとの遊びや異年齢との触れ合いなど、行動範囲が広がってくる中で一緒に行なう楽しさや充実感を味わわせたい。 ○発表会の活動では、他学年の発表を観たことで、劇遊びに興味を持ち、楽しんで参加している。 ○成長を喜びや進級への期待を育てたい。
ねらい		○喜んで登園し、保育者に親しみ安心して過ごす。 ○園生活の流れを知り、安心して過ごす。 ○身の回りのことを、保育者と一緒に行おうとする。	○保育者や同じ場で遊ぶ友だちと、好きな遊びを十分に楽しみながら安心して生活する。 ○園生活の中で、食事、排泄、衣服の着脱などの仕方が分かり、自分でしようとする。	○保育者や友だちのしていることに興味を持ち、自発的に遊ぶようになる。 ○伸び伸びと体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○見通しを持ち進んで生活する。	○日常生活の中で、自分でできることは進んでしようとする。 ○簡単なルールを理解してみんなで遊ぶ楽しさを感じる。	○自分の思いを出しながら、友だちと一緒に活動することや遊びを楽しむ。 ○基本的な生活習慣が身に付き、自信を持って行動する。
指導内容の視点	・健康な心と体 ・自立心 ・協調性 ・道徳性、規範意識の芽生え ・社会生活との関わり ・思考力の芽生え ・自然との関わり、生命尊重 ・数量、図形、文字等への関心、感覚 ・言葉による伝え合い ・豊かな感性と表現	○自分のクラスや保育者を知り、親しみを持つ。 ○土、砂、粘土などで遊び、感触を楽しむ。 ○保育者にやりたいことを動作や言葉で伝えようとする。 ○あいさつや返事をする。 ○手遊びや絵本を楽しみながら、集まりの場に参加する。 ○身近にある玩具を使って見立てたりまごごとをしたりする。 ○園庭の草花、虫に興味を持ち、春の自然に親しむ。 ○保育者や友だちと一緒に過ごす。 ○誕生会やホール集会にみんなと一緒に参加する。 ○保育者との触れ合いを通して、安心して生活や遊びを楽しむ。 ○みんなで楽しく安心して過ごすために必要な約束を知る。 ○生活の仕方や一日の流れを知る。 ○持ち物の始末や身支度を保育者と一緒に行う。 ○お弁当の準備の仕方や手順を知り、みんなで食べることを楽しむ。 ○保育者のまねをして体操をしたり、戸外で体を動かしたりすることを楽しむ。 ○安全な生活を送るための約束事を知る。	○自分のしたい遊びや、気に入った玩具や場を見つけて繰り返し遊ぶ。 ○育てている夏野菜の生長や、収穫を楽しむ。 ○砂や水を使って遊び、感触を楽しむ。 ○保育者や友だちと挨拶を交わし、生活や遊びの中で、自分の思いを動作や言葉で保育者や友だちに伝えようとする。 ○身近にある素材に触れ、見立てる、作るなどして遊ぶ。 ○クラスの友だちとの活動や、誕生会や季節の行事などに楽しんで参加する。 ○衣服の着脱や食事の準備・片付けなど、自分でできた喜びを感じる。 ○一日の生活の流れが分かり、安心して過ごす。 ○お弁当や給食の準備の仕方や流れを知り、友だちと一緒に食べる楽しさを感じる。 ○みんなで一緒に体を動かす楽しさや、戸外で遊ぶ心地よさを感じる。 ○プールで安全に遊ぶためのルールがあることを知る。	○自分のしたい遊びを友だちと一緒に繰り返し楽しむ。 ○経験したこと、感じたこと、思ったことを自分なりの方法で相手に伝えようしたり、相手の思いを感じたりする。 ○絵本や紙芝居を見て、物語の世界を楽しむ。 ○身近な素材を使って描いたり作ったりして、表現することを楽しむ。 ○同年齢や異年齢の友だちの遊びに関心を持ち、仲間に入り一緒に活動して楽しむ。 ○基本的な生活習慣の手順が分かり、自発的にしようとする。 ○収穫の喜びを感じ、いろいろな食材に興味を持つ。 ○簡単なルールを理解して、みんなで一緒に遊ぶことを楽しむ。 ○保育者や友だちと体を充分に動かして遊ぶ心地よさを体験する。 ○曲に合わせて体を動かし、表現することを楽しむ。	○風や落ち葉などの季節の変化や自然に興味や関心を持ち、触れて遊ぶ。 ○好きなものになりきったり、見立てたりして遊ぶ中で、感じたり考えたりしながら自分のイメージを表現して楽しむ。 ○身近な物の数、色、形、大きさ、高さ、重さなどの違いに気付く。 ○保育者や友だちのかかわりや遊びの中で、やり取りを楽しみながら、生活に必要な言葉を増やしていく。 ○絵本や紙芝居を見て、言葉のやりとりに興味を持ち、なりきって表現する。 ○保育者や友だちと一緒に活動する楽しさを味わう。 ○自分の気持ちや困っていること、してほしいことなどを自分なりの言葉や方法で伝えようとする。 ○保育者や友だちと簡単なルールのある遊びを楽しむ。 ○手洗い、うがいの大切さを知り、自発的にしようとする。 ○いろいろな食材に興味を持ち、みんなと一緒に食べることの喜びを味わう。 ○簡単なルールのある遊びを通して、みんなと一緒に体を動かすことを楽しむ。また固定玩具で遊ぶことを通していろいろな体の使い方を覚えたり、安全な遊び方を習得したりする。	○冬の自然に興味を持ち、遊びに取り入れる。 ○生活に必要な言葉が分かり、思ったことを言ったり、相手から聞かれたことに応じて答えたりする。 ○絵本やお話のイメージを膨らませ、なりたい役を選び取り、自分なりの表現を楽しむ。 ○保育者や友だちのしている遊びに興味を持ち、自分もかかわりながら遊ぶ。 ○年中・年長組に憧れを持ち、進級することに期待を持つ。 ○生活や安全に必要な簡単な決まりが分かる。 ○身の回りの物の整理や遊びの片付けなど自分のことは自分でしようとする。 ○いろいろな食材に興味を持ち、みんなと一緒に食べることの喜びを味わう。 ○保育者や友だちと一緒に簡単なルールに沿って体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○健康、安全な生活に必要な基本的な習慣を身に付ける。
みなしずか		○「みなしずか」を知る。	○「みなしずか」では静かに座り、目を閉じる。	○「みなしずか」では静かに座り、目を閉じる。	○「みなしずか」では静かに座り、目を閉じる。	○「みなしずか」を正しく行う。
○環境構成の要点 ★保育者のかかわり・援助		○安心して園生活が送れるように、日々の生活の流れをできるだけ変えないようにして進める。 ○くつ箱、ロッカーなどには個人のマークを付け、分かりやすくする。 ○食事、排泄、持ち物の整理などは繰り返し方法を伝え、無理なく身につくようにする。 ○戸外の玩具や砂場を安全に整備し、保育者が見守りながら自由に使えるようにする。 ○室内の遊びは家庭的な雰囲気を作り、安心して好きな遊びができるように配慮する。 ★一人ひとりを温かく受け入れ、どの子どもも安心感が持てるように心がけて小さなサインも見逃さないように配慮する。 ★好きな遊びが見つけれられるように、一緒に遊び興味が持てるような誘いかけをする。 ★新しい環境の中で活動範囲が広がってくるので、安全に過ごせるように配慮する。 ★職員間で連絡を密に取り合い、子どもたちの現状に共通の理解を持って援助できるようにする。	○保育者や友だちの遊んでいる様子に気付かせ、遊びに関心が持てるように誘いかけたり、仲立ちをしたりする。 ○好きな遊びが十分楽しめるように、玩具や材料を用意し、保育内容や一日の流れを子どもたちの状態に合わせて考えていく。 ○気温や天候に応じて、水、泥、絵の具など様々な素材の感触が楽しめるように準備する。 ○着替えなどの場所や時間は十分に確保し、自発的にしようとする気持ちを大切に。 ★友だち同士のトラブルは互いの気持ちを受け止めたり、代弁したりして、状況に応じて対応していく。 ★身の回りの始末は子ども一人ひとりの成長に合わせて援助し、できた時には共に喜び、自発的にやろうとする気持ちを引き出していく。 ★職員間で連絡を密に取り合い、子どもたちの現状に共通の理解を持って援助できるようにする。 ★暑さを考慮し、水分補給と休息を十分にとれるよう配慮する。	○コーナーや玩具などは一学期の終わりと同じような環境にし、活動や子どもの様子に合わせて変える。 ○子どもの思いや見立てなどを受け止め、いろいろな遊び方を知らせ、遊びを楽しめるようにする。 ○走ったり、思いきり体を動かしたりする心地よさを味わえるような機会や場を用意する。 ○自発的にしようとする意欲を受け止め、個々の成長に合わせて基本的な生活習慣が身につくようにする。 ★身の回りのことを自分からしようとする姿を見守り、認めたり褒めたりすることで、自己肯定感を育てる。 ★運動遊びや踊りを通して、保育者も子どもと一緒に体を動かしながら、その楽しさを知らせていく。 ★職員間で連絡を密に取り合い、子どもたちの現状に共通の理解を持って援助できるようにする。 ★暑さを考慮し、水分補給と休息を十分にとれるよう配慮する。 ★遠足では公共の場でのマナーに気を付けるようにする。	○友だちとじっくり遊びこめる時間や環境を準備すると共に保育者もかかわりながら遊びを進めていく。 ○身近な物の数、色、形、大きさ、高さ、重さなどに興味を持てるような玩具を用意する。 ○遊びが広がる素材や用具を用意する。 ○基本的な生活習慣において、個々の成長段階に合わせて援助をし、できたという満足感が味わえるようにする。 ○集団遊びが楽しめるように、簡単なルールのある遊びを提案し、一緒に遊ぶようにする。 ★友だち同士のトラブルでは、一人ひとりの気持ちを受け止め、相手の気持ちにも気付いていけるようにする。 ★歌や踊りを通して、クラスみんなで活動する楽しさを感じられるようにする。 ★身の回りのことを自発的に行おうとする姿を見守り、できたことを一緒に喜ぶ。 ★職員間で連絡を密に取り合い、子どもたちの現状に共通の理解を持って援助できるようにする。	○遊びの中で思いやイメージを実現できるように、子どもの動きや言葉を受け止め、遊びに必要な玩具や用具を提示する。 ○子ども同士と一緒に遊べるような環境を設定し、必要に応じて言葉掛けをする。 ○簡単なルールのある遊びでは、ルールをわかりやすく丁寧に伝え、みんなで遊ぶ楽しさを味わえるようにする。 ○身の回りのことに取り組む姿を見守り、できるようになったことや意欲を認め、成長と一緒に喜ぶ。 ○やって良いこと悪いことを理解し、安全な遊び方ができるように再確認する。 ★一人ひとりの動きや言葉が友だちに伝わるように、保育者が遊びに加わり、言葉で橋渡しをしていく。 ★進級に期待が持てるような話や、成長したことを伝え、自信を持って生活できるようにする。 ★子どもが自分から気付いてやってみようとする姿ができるようになったことを認めて、進級する気持ちへつなげていく。 ★職員間で連絡を密に取り合い、子どもたちの現状に共通の理解を持って援助できるようにする。